

令和6年度 小中一貫教育中学校ブロック活動状況

< 資料 2 >

| 具体的な取組 |                             | 宇治中学校ブロック   | 北宇治中学校ブロック  |
|--------|-----------------------------|---|---|
| 到達目標1  | 9年間を見通した子どもの育ちと学びのつながりに関わって | <ul style="list-style-type: none"> <li>○全国学テ・府学テの分析・確認</li> <li>○ICTの効果的な活用</li> <li>○公開授業を含む合同授業研究</li> <li>○特別支援教育の支援・手立てを含めた小学校から中学校へのきめ細かな引継ぎ</li> <li>○研究テーマ「学力(国語力)向上のための、学級経営と授業の改善」の共有</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・総会の折に授業参観を行い、各校における授業方法等の工夫の研究や、各校の児童・生徒などの実態を知り、学力の向上や小中連携、小中連携を行った。</li> <li>・児童会・生徒会による合同行事や半日入学の取組、小学校での職場体験の実施等により小中連携を推進した。</li> </ul>                      |
| 到達目標2  | つながりのある子ども理解と生徒指導に関わって      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○小中学校間の丁寧な引き継ぎ</li> <li>○ブロック校長会、教頭会、コーディネーター会議、児童理解部において児童生徒の実態や課題、強み等を交流し、共通した視点での生徒指導・支援の実施</li> <li>○各校の授業参観</li> <li>○就学前を含む地域の関係機関との連携</li> </ul>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブロック内の係を、生徒指導係、学力充実係、特別活動係、教育相談係、特別支援教育係、情報教育係に再編し、小中一貫教育に取り組み、ブロック全員の教員が分担して参加する中で、自校の教育に生かしていくとともに、小中での連携を図った。</li> </ul>                                       |
| 到達目標3  | 指導や支援に磨きがかかる教職員の連携と協働に関わって  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○コーディネーター会議の定期的な開催</li> <li>○小中一貫教育の推進に向け、課題解決に向けた具体的な研究・研修</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・校長会を開催し、本年度の本校ブロック小中一貫教育の方針や計画を決定し、それを受けて各校コーディネーター間の連携を図った。</li> <li>・機能的な組織運営をめざし、年度当初に校長会や企画会議を実施して本年度の小中一貫教育における方針や計画を決定するとともに、各コーディネーター間の連携を密にした。</li> </ul> |
| 到達目標4  | 家庭・学校・地域でつくる育ちの輪に関わって       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○「小中一貫教育便り」の活用</li> <li>○保護者・地域からの意見の収集</li> <li>○学校運営協議会・地域団体への積極的なブロックの取組</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「小中一貫教育だより」を学期1回程度発行し、小中一貫教育の取組を保護者、地域に紹介した。</li> <li>・「家庭学習の手引き」を発行し、保護者の協力を得つつ家庭学習の方法の理解など、学習を充実させることで学力の向上を図った。</li> </ul>                                     |

| 具体的な取組 |                             | 榎島中学校ブロック  | 西小倉中学校ブロック  |
|--------|-----------------------------|--|---|
| 到達目標1  | 9年間を見通した子どもの育ちと学びのつながりに関わって | <ul style="list-style-type: none"> <li>○学力分析を通して授業改善の取組…学力分析部会を通して、児童・生徒の課題を把握し、課題克服に向けての方向性や取組について協議して授業改善に繋がった。</li> <li>○アクションプラン推進…国語部会を中心に、「効果のある宇治市方式を進めるアクションプラン」を推進した。</li> <li>○小学生の中学校体験入学…中学進学への不安を解消し、中学校生活への見通しを持つために、中学校での授業体験と部活動体験を行った。</li> <li>○服のチカラプロジェクト…ブロックの小中学校の生徒会・児童会を中心に、ユニクロの古着回収の活動を行った。</li> </ul>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力分析の充実。各校の京都府学力調査や全国学力調査から学力の実態を把握、分析・共有した。</li> <li>・指導方針の共有・確立。主体的に取り組む子どもの育成に向けて実践を共有し、指導方針を確立した。</li> </ul>  |
| 到達目標2  | つながりのある子ども理解と生徒指導に関わって      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒指導部会、特別支援教育部会による交流…生徒指導や特別支援教育における児童・生徒理解を深め、小中接続をスムーズにするために情報交流や協議を行った。</li> <li>○L Cによる小6出前授業…小中接続をスムーズにさせるため、ラーニングコーディネーターと中学校生徒指導主任が各小学校で、中学入学前の心得や準備等について授業を行った。</li> <li>○各校授業参観…各校の授業参観を通して、児童・生徒理解を深め、小中連携をスムーズに行った。</li> <li>○夏季研修（講演会の企画）…外部講師を招いて、児童・生徒理解、授業改善や各校の課題解決に繋がる内容についての研修を行った。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・通信の連携を進める。中学校の生徒指導通信を小学校に共有した。</li> <li>・中学校準備講座の実施。中学校入学への不安軽減を図るため、L Cが小学校を訪問し、出前講座を実施した。</li> <li>・生徒指導交流会の実施。各校の生徒指導部長による事象報告や実態や指導内容の共有化を図った。</li> </ul> |
| 到達目標3  | 指導や支援に磨きがかかる教職員の連携と協働に関わって  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○合同研修会…榎島中ブロックの取組や目指す方向性などの確認や、各部会等の取組の報告等を行った。また、講師を招いてブロックの課題解決に関わる講演会等を実施した。</li> <li>○各部会での授業改善・取組改善…学力分析部会、国語部会、ICT推進部会、特別支援教育部会、生徒指導部会、特別活動部会に分かれ、小中一貫教育の視点でそれぞれのグループにおける授業改善や取組の改善に向けて協議や、各校の情報交流を行った。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中合同研修会の充実。コーディネーター会議の実施。小中一貫校開校に向けて、ワーキンググループに分かれて取組内容や方針等の整理を行った。</li> </ul>  |
| 到達目標4  | 家庭・学校・地域でつくる育ちの輪に関わって       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員広報の発行…教職員広報を発行し、小中一貫教育推進に関わる情報を発信し、小中学校の教職員の共通理解を図りながら、取組を推進した。</li> <li>○情報発信…小中一貫教育便り「マキシマム」の継続発行(保護者配布・地域回覧)やHPへの掲載、各校の広報誌での小中一貫教育目標やめざす子ども像、取組等の広報や校内掲示等を行い、小中一貫教育に向けた取組や研究を積極的に情報発信した。</li> <li>○地域との連携…学校・地域行事で、児童生徒が共に活動したり、交流したりする場面や小中一貫教育の成果を発揮する場面を設定した。</li> </ul>                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域、保護者への啓発活動の充実。様々な取組を「小中一貫だより」のプリント配付やHP等で発信した。</li> <li>・地域懇談会の実施</li> </ul>  |

| 具体的な取組 |                             | 西宇治中学校ブロック   | 南宇治中学校ブロック  |
|--------|-----------------------------|--|---|
| 到達目標1  | 9年間を見通した子どもの育ちと学びのつながりに関わって | <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月に「学力充実」「生徒指導」「特別支援・教育相談」の領域部会に分かれ、中学校ブロックの課題や教育目標、めざす子ども像について共通認識を持った。また、各部で今年度重点的に話し合う内容について確認した。</li> <li>・8月の夏期合同研修では、「学力充実」「生徒指導」「特別支援・教育相談」の領域部会に分かれ、6月に引き続き各部会でテーマを設定し、交流・協議を行った。また、13の教科部会に分かれ、1学期の授業の様子や、ICTの有効活用などを交流した。</li> <li>・10月は、西宇治中学校で公開授業と事後研究会を行い、西宇治中学校ブロックで統一した指導を行うための手立てや子どもの姿を共有した。</li> <li>・西宇治中学校合唱コンクールの動画を視聴し、中学校進学への見通しを持たせる一助とした。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季合同研修会を実施。「小中9年間で育てる認知・非認知能力～子どもと先生が元気になる学校づくり・小中一貫を通して～」をテーマとして、講師講演会、京都府学力・学習状況調査（学びのパスポート）の結果分析交流会を行った。</li> </ul>  |
| 到達目標2  | つながりのある子ども理解と生徒指導に関わって      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校に入学してからの学習や生活に対する不安等を解消する目的で、6年生対象の部活動体験や学習説明会を実施し、中学校生活の見通しを持たせた。</li> <li>・小学校卒業後から中学校入学までの学力保障のため、統一した春休みの宿題を準備し、取り組ませる予定である。</li> <li>・学期に1回程度、小学校の児童会と中学校の生徒会が合同で朝のあいさつ運動を実施し、小中間での交流の場を設けた。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・りかい部会で情報共有や事例研修を実施。「児童生徒に対する個別の支援」「児童生徒の意欲を高めるための取組」「特別支援学級、通級教室、いきいき支援」等についての交流と事例研修を通して「支援体制の構築方法やその在り方、外部機関との連携の重要性」について学ぶ場を設定した。</li> <li>・つながり部会でタブレット使用時のルールや校則の在り方等について交流。</li> <li>・国際教室担当教師の派遣による他校支援。</li> <li>・LCによる小学校出前授業</li> </ul> |
| 到達目標3  | 指導や支援に磨きがかかる教職員の連携と協働に関わって  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中合同の研修会実施にあたり、ブロック校長会やコーディネーター会議等で事前の打ち合わせを行い、研修内容や組織体制についての検討をし、研修内容の充実を図った。</li> <li>・各領域の部長が事前に研修の方向性等について確認し、合同研修会をスムーズに実施できるようにした。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間4回の小中合同会議、3部会を実施。</li> <li>・まなび部会でICT機器の効果的な利活用について協議、実践交流等を実施。</li> </ul>  |
| 到達目標4  | 家庭・学校・地域でつくる育ちの輪に関わって       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙発行の取組を継続するとともに、小中一貫教育啓発掲示板の有効活用、各校学校だよりのブロック内交流、各校HP上を工夫し、広く地域に発信し理解と支援を求めた。</li> <li>・各地域行事、夏休みの「地域パトロール」、西宇治オープンフェスタ、中学校オープンスクール等々への積極的な参加を通して、地域との連携を図り支援や協働を得た。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童会生徒会を中心とした交流活動を実施。「年間3回の小中合同あいさつ運動と事前のオンライン会議」「地域清掃ボランティア活動」「中学校授業体験、部活動体験（6年生）」「中文拳の武術体験（各小学校の2年生）」「帰国外国人児童生徒理解学習（6年生）」を行った。</li> </ul>  |

| 具体的な取組 |                             | 広野中学校ブロック  | 東宇治中学校ブロック   |
|--------|-----------------------------|--|--|
| 到達目標1  | 9年間を見通した子どもの育ちと学びのつながりに関わって | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学園児童生徒の学力充実を目指し、学力部会を中心とした組織的な活動の実施</li> <li>・6年生を対象にした春休みの宿題や、「家庭学習の手引き」など、共通課題の作成</li> <li>・よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目指す「宇治学」の充実</li> <li>・3校の重点研修会を案内し合い、校内で研修内容を紹介し実践力を高めた。</li> <li>・宇治市学力向上対策協議会によるスキルアッププログラムの実施</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・合同研究授業や相互授業参観を含む小中合同研修会の実施</li> <li>・「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善を積極的に進め、その中に、ことばの力を高める視点を加え、日常の授業や家庭学習、小中一貫教育の様々な取組と関連させ、生きて働く学力や生きる力を高めるための指導の充実・向上を図った。また、非認知能力と認知能力の一体的な育成・向上に向けた授業研究を進めた。</li> </ul> |
| 到達目標2  | つながりのある子ども理解と生徒指導に関わって      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・3校の生徒指導の交流(8月・10月・1月)<br/>(問題事象の交流や傾向の分析など)</li> <li>・少年補導地域懇談会での状況交流</li> <li>・HOT-MEETING(3校合同児童生徒会)の実施</li> <li>・福島ひまわりプロジェクトの実施</li> <li>・小6中学校体験学習や外国語活動での小中交流事業</li> <li>・中学1年生による小学校1年生への紙芝居読み聞かせ</li> <li>・中学校部活動体験の実施</li> <li>・小学校職場体験学習での中学生による中学校紹介</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門部会の実施</li> <li>・学力面だけでなく、生徒指導部会、特別支援・教育相談部会を設定し、学校ごとの取組や児童の様子を交流するとともに、中学校へスムーズな接続ができるように一致した取組を進めた。</li> </ul>  |
| 到達目標3  | 指導や支援に磨きがかかる教職員の連携と協働に関わって  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇治ひろの学園総会の実施による小中一貫教育の取組周知</li> <li>・夏季合同研修の実施</li> <li>・大久保小と大開小の小中連携の計画及び実施(授業研の交流と授業での交流)</li> <li>・他校種研修での受け入れ(初任者)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・相互授業参観・合同研究授業</li> <li>・相互授業参観や合同研究授業を通して、教職員の連携と協働を進め、指導力を高めた。</li> <li>・ブロックの小中学校の職員写真を職員室内に掲示することで、連携・協働を進めやすくした。</li> </ul>  |
| 到達目標4  | 家庭・学校・地域でつくる育ちの輪に関わって       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・HOOP(宇治ひろの学園小中一貫教育だより)の保護者への配付</li> <li>・各校の学校だよりでの紹介やホームページの活用</li> <li>・3校巡回作品展示の保護者向け公開</li> <li>・小6の中学校体験学習の保護者参観</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育だより等による広報</li> <li>・家庭学習習慣・生活習慣の確立・充実の取組</li> <li>・小中一貫教育だよりを発行したり、各校の学校便り等で小中一貫教育の取組を紹介したりして、積極的に情報発信を行った。</li> <li>・ブロック共通の「家庭学習の手引き」の活用を進めながら、児童生徒の実態に応じた家庭学習習慣・生活習慣を高める取組を進めた。</li> </ul>  |

| 具体的な取組 |                             | 木幡中学校ブロック   | 黄檗中学校ブロック   |
|--------|-----------------------------|---|---|
| 到達目標1  | 9年間を見通した子どもの育ちと学びのつながりに関わって | 【9年間を見通しての「ことばの力」の育成】<br>8つの教科部会（国語・生活・社会、算数・数学、生活・理科、音楽・美術・図工・家庭・技術、保健体育、外国語・英語、道徳）の協議、交流を通して、小中の系統的、継続的な指導を進めた。         | 【課題解決型学習】<br>・各教科領域の学びをつなげる課題解決型学習の実施   |
| 到達目標2  | つながりのある子ども理解と生徒指導に関わって      | 【切れ目のない生徒理解と小中が連携した生徒指導の推進】<br>3つの連絡会（学力充実しずえ、児童生徒理解、健康安全）を通して、小中での生徒交流を深め、切れ目のない生徒指導・支援を推進した。                            | 【生徒指導】<br>・9年間の継続的な生徒指導を進めるための課題共有（小中連携）  |
| 到達目標3  | 指導や支援に磨きがかかる教職員の連携と協働に関わって  | 【夏季小中合同研修】<br>特別支援教育をテーマとした講演を依頼。C層・D層の生徒理解や、効果的な指導や支援等についての理解を深めた。<br>【ICTスキル交流】<br>各校のICTの利活用の工夫の交流を行い、教職員のスキルアップを目指した。 | 【小中連絡会】<br>・小中連絡会の開催、小中の現状把握、相互理解<br><br>【小中合同夏季研】<br>・表現力、データ活用能力の育成。学力分析の方法                                     |
| 到達目標4  | 家庭・学校・地域でつくる育ちの輪に関わって       | ・地域交流の活性<br>⇒おもろいやんか木幡への参加<br>・HPの活用<br>⇒HPに小中一貫教育の取組を掲載し、取組の啓発を図った。<br>・保護者説明会<br>⇒新入生保護者説明会などを通して小中一貫の取組について情報発信を行った。   | 【コミュニティ・スクール】<br>・計画的な学校運営協議会開催による小中一貫教育の状況確認<br>・学園全体の取組の積極的な広報活動（ホームページ更新・メール配信等）<br>・各教科、クラブ活動等における学校ボランティアの活用 |